

研修NO.

18-15

ヒューマンエラー対策の進め方

リスクマネジメント志向の自社改革

対象者

管理者・新任管理者等

研修のねらい

多品種・短納期への対応がますます求められる一方で、製品ごとに完成度の高い品質不良防止対応が困難なため、作業者の注意に頼らざるを得ない状況にあります。

本研修では、このような環境にある製造現場でのヒューマンエラーに対する理解を深め、その対策を学ぶとともに、リスクマネジメント志向による自社のヒューマンエラー対策の改善検討に取り組みます。

このような方におすすめ

- ★ヒューマンエラーの及ぼす影響や要因を理解したい方
- ★ヒューマンエラー対策を考案し、実施出来るスキルを習得したい方

実施期間

全3日間(21時間)
2018年7月25日(水)~27日(金)

定員

35名

受講料

31,000円(税込)

※宿泊費は含まれません。

※お申込みが多数の場合、定員を変更させていただく場合がございます。

受講生の声

- ◆実体験を織り交ぜ、テキストのポイントを抜き出しての説明は、非常に分かり易かった。
- ◆すぐに現場にフィードバック出来ることがありました。

研修カリキュラム

日程	研修テーマ	内容
7/25(水) 9:30~18:00	1. ヒューマンエラーとポカミスの発生リスクと要因	●ヒューマンエラーとポカミスの関係を示し、様々なヒューマンエラーの発生リスクや、発生要因について事例を示しながら確認します。
	2. ポカミス対策(演習)	●ポカミスの発生要因の追求方法や、対策までのプロセスや手法について事例や演習を交えて習得します。
7/26(木) 9:30~18:00	3. ポカミス予防(演習)	●ポカミスの予防方法について、要因の予測や対策の実施プロセスについて、事例や演習を交えて習得します。
	4. ヒューマンエラー対策の方法と手順(演習)	●事例やケースをもとに、ヒューマンエラーの発生に対して、どのような対策を講じるべきか、講義と演習により習得します。
7/27(金) 9:00~16:00	5. リスクマネジメント、ヒューマンエラー予防方法(演習)	●将来起こるかも知れないヒューマンエラーやその他のトラブルに対して、その防止策や、影響が最小に留まるような対策について、講義と演習を通じて習得します。
	6. 自社課題演習	●ヒューマンエラー及びポカミスの観点で、自社課題について、改善を検討します。

※カリキュラムは変更となる場合がございます。

講師紹介

▶ 植條 英典 (うえじょう ひでのり)

株式会社 実践マネジメント研究所 代表取締役

中堅家具メーカーの経営企画室にて経営管理業務に従事した後、中村技術士事務所に入所し、平成16年に実践マネジメント研究所を設立。生産管理、生産性向上対策、管理者育成、品質改善、5S改善を中心に全国各地でコンサルタント活動を行う一方、中小企業大学校、日本IE協会、大阪府工業協会、兵庫工業会、四国生産性本部、各地の商工会議所、海外研修(マレーシア)等でのセミナー講師としても活躍中。モットーは、「ご安全に!」「不易流行」「知覚動考」。